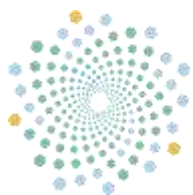


エコフレンドリーオフィスプラン通信

第2号 発行日:平成30年6月27日

発行元: 環境政策課

責任者: 課長 杉本 一平



ECO FRIENDLY TOWN
YAMAGUCHI CITY

平成29年4月から、本市独自の環境マネジメントシステムと地球温暖化対策に係る計画を一体として構築した「エコフレンドリーオフィスプラン」(EFOP) の運用を開始して、1年が経過しました。

引き続き、皆さんの積極的な取組をお願いします。

目次

- ・マネジメントレビューについて
- ・平成29年度 of 取組結果
- ・今夏の節電について

マネジメントレビューについて

平成30年6月25日開催の「平成30年度山口市環境管理委員会」におきまして、環境管理統括者（市長）からマネジメントレビュー（市長からのプラン見直し指示）が示されました。

マネジメントレビューは、環境マネジメントシステムの重要なプロセスであり、組織として全体が同じ方向に向かって進んでいくための道標となるものです。

各所属においては、当該レビューを**職場研修で取り上げていただく**など、内容の周知徹底をお願いします。

平成30年度マネジメントレビュー（市長からのプラン見直し指示）

1. 環境方針

エコフレンドリーオフィスプランで定めた環境方針を継続する。

2. 取組目標

各所属において適切な重点取組項目を設定し、共通の環境配慮項目とともに、積極的な推進を図ること。

3. プランに関するその他の要素

運用開始後1年が経過し、各所属の積極的な取組により一定の成果が得られていると評価している。引き続き、より効果的かつ実効性の高い運用を進めること。

国の温室効果ガス削減目標（全体では2030年度に2013年度比26%の削減。地方自治体を含む民生業務部門においては40%の削減が掲げられている）を念頭に、節電や燃料の削減等についてより一層の取組みを進めるとともに、市有施設への再生可能エネルギー設備の導入、省エネルギー設備への転換を積極的に進めること。

平成29年度の取組結果

全所属・全施設の平成29年度取組結果は、下記のとおりです。全職員が一丸となって取り組んだ結果、目標を上回る「平成23年度比7.6%削減」を達成することができました。

なお、平成30年度も「平成23年度比7%以上削減」を目標といたしておりますので、引き続き、積極的な取組をお願いします。

エネルギー使用量と温室効果ガス排出量

※平成29年度温室効果ガス排出量削減目標：平成23年度公表値から7%以上削減

削減率：7.6%

	単位	平成23年度公表値		平成29年度		CO2排出量増減 対23年度比較	増減率(%) 対23年度比較
		使用量	排出量(kg-CO ₂)	使用量	排出量(kg-CO ₂)		
二酸化炭素排出量			31,722,250.30		29,311,558.57	▲2,410,691.73	-7.60%
電気の使用に伴うCO ₂ 排出量	kWh	47,048,890.00	26,112,133.95	43,908,082.23	24,368,985.64	▲1,743,148.31	-6.68%
燃料使用に伴うCO ₂ 排出量			5,610,116.35		4,942,572.94	▲667,543.41	-11.90%
ガソリン(公用車以外の利用)	ℓ	27,648.00	64,189.26	17,658.85	40,997.85	▲23,191.41	-36.13%
ガソリン(公用車)	ℓ	240,646.27	558,698.82	218,748.08	507,858.67	▲50,840.15	-9.10%
軽油(公用車以外の利用)	ℓ	30,219.00	79,151.03	32,808.33	85,933.11	6,782.08	8.57%
軽油(公用車)	ℓ	246,308.97	645,144.02	221,026.81	578,923.74	▲66,220.28	-10.26%
灯油	ℓ	742,053.00	1,847,328.33	602,870.60	1,500,836.31	▲346,492.02	-18.76%
A重油	ℓ	298,235.30	808,107.32	226,720.20	614,327.86	▲193,779.46	-23.98%
液化石油ガス(LPG)	m ³	86,104.00	514,375.91	82,069.80	490,276.05	▲24,099.86	-4.69%
液化天然ガス(LNG)	m ³	476,541.00	1,093,121.67	489,749.20	1,123,419.36	30,297.69	2.77%
メタンの排出に伴うCO ₂ 換算量			1,098.00	-	1,045.66	▲52.34	-4.77%
一酸化二窒素の排出に伴うCO ₂ 換算量			29,129.00	-	27,599.53	▲1,529.47	-5.25%
合計			31,752,477.30		29,340,203.76	▲2,412,273.54	-7.6%

※エネルギー使用量から、CO₂排出量(kg-CO₂)に換算

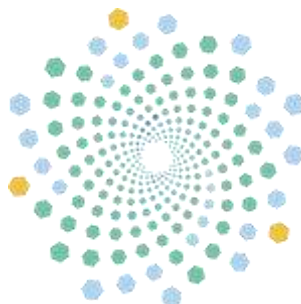
※メタン、一酸化二窒素は、車両の走行距離から算出

今夏の節電について

2018年度夏季の電力需給は、10年に1回程度の猛暑を想定しても、全エリアで電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しであることから、今夏についても国からの節電要請はありませんが、本市におきましては昨年同様、積極的な節電等に取り組むこととします。

各所属におかれましては、健康に十分配慮しつつ空調の温度管理の徹底、会議等における夏の軽装（ノーネクタイ・ノー上着）の実施、昼休みの不要な照明やパソコンの電源オフなどの取組をお願いします。

このロゴマークの由来を知ちよる？



山口市環境方針ポスターやステッカーなどで使用しているロゴマークの由来について、御存知ですか？

このマークは、豊かな恵みの源となる自然界の

基本構造（雪の結晶や蜂の巣などの“六角形”）と配列（松ぼっくりやひまわりの種などの“らせんの渦”）を図案化したもので、空や水、山や緑そして人間の活動などを色で表現し、原点に立ち返って環境負荷の低減を目指す姿勢を示しています。

環境政策課グループウェアのキャビネットにデータがありますので、名刺等に御活用ください。